



学校運営協議会だより

令和8年2月20日(金)
国立市立国立第四小学校
校長 牧野 陽一郎

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和7年度 第6回学校運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時 : 令和8年2月18日(水) 9:30~10:30
会場 : 国立第四小学校 第一会議室
出席者 : 緑川隆(会長) 日吉友里奈(副会長) 牧野陽一郎(校長) 立入秀子
関武彦 齋藤裕子 山村良朋 松ノ木由季
清原周栄(副校長) 柏木光晴(主幹教諭)
地域学校協働活動推進員: 日吉友里奈

《主な協議内容》 司会: 緑川隆(会長) 記録: 柏木光晴(本校CS推進委員)

- 令和7年度の教育活動の振り返りと令和8年度に向けて
- 令和8年度の学校行事予定について
- 来年度の学校運営協議会について

※以上協議内容について、学校運営協議会は承認しました。

《主な意見》

- 令和7年度の教育活動の振り返りと令和8年度に向けて
 - ・教職員・保護者・地域の皆様の尽力により、温かな雰囲気の中で教育活動を展開することができた。
 - ・校内研究の充実により、学級会やたてわり班活動、クラブ活動などの特別活動が充実した。
 - ・毎朝、正門や南門で教員が子供たちを迎え、安心感のある学校環境づくりに努めた。
 - ・配慮を要する児童への支援として、定期的な情報交換、クールダウンの場所や居場所(学級)に関する共通理解、別室指導支援などの対応を行った。
 - ・職員朝会・夕会において教職員同士のあいさつを継続し、その意義を共通理解のもと大切にしてきた。
 - ・連絡事項はペーパーレス化の流れを踏まえつつも、毎日顔を合わせて直接伝達することを大切にしている。
 - ・郷土文化館の新聞づくりでは、内容・構成ともに充実しており、主体的に学習に取り組んでいる様子が見え、学校全体の雰囲気がより良くなり、それが学力の向上にもつながっていると実感している。
 - ・日頃から「めあて」と「振り返り」を意識した学習を積み重ねている成果が表れていると感じた。
 - ・理科の授業では、自ら仮説を立てて実験に取り組み、一人一人が根拠をもって考える姿が見られた。
 - ・教員が授業改善を工夫し続けていることで、子供たちが意欲的にそして楽しみながら学習している様子が印象的であった。
 - ・保護者向けにペーパーレス化に関するアンケートを実施しており、今後の在り方を検討していく予定である。
 - ・再来年度に予定している創立70周年行事に向けて、準備を計画的に進めていく。
 - ・校内研究は特別活動を中心に据え、さらなる充実を図る。
 - ・縦割り班活動がより一層充実するよう、活動内容や運営方法の工夫・改善を進める。
 - ・校務分掌引継ぎ書を効果的に活用し、教員の異動に備えた円滑な組織運営体制を整える。
- 令和8年度の学校行事予定について
 - ・現在、令和8年度の教育課程を国立市教育委員会へ申請しており、教育課程が受理後、保護者会等の機会を通して、来年度の学校行事を周知する予定である。
- 来年度の学校運営協議会について
 - ・来年度も引き続き、学校運営協議会委員を受けていただくことを確認した。
 - ※第6回学校運営協議会は、協議内容・主な意見について記録に残すことに承認しました。

今回の学校運営協議会は、令和8年4月15日(水)9時30分より国立第四小学校で開催します。